

外輪

H27.7.24(金)発行

文責:上田

23日(木)、福岡
教員養成所から18
名のボランティア
が、校内整備、学習
支援のため来校い
ただきました。



1 学期終業式

…子どもの成長を確かめ合う機会を設けましょう

24日、1学期の終業式を行いました。この3か月間で子どもたち一人一人にどんな成長がみられたのか、ご家庭でも振り返っていただければと思います。

通知表の学習や生活の様子などを見ると、子どもたちが自らのめあての達成に取り組んだ様子が伝わってきました。子どもであれ、大人であれ、達成したいという思いが自らの行動を左右するものです。たとえ、目に見える形で達成されなくても、自らを振り返り、次の行動への意欲として高めることが大切です。ぜひ、通知表では、そんな子ども一人一人のがんばりを称賛いただければと思います。

さて、子どもたちは夢に向かって挑戦する存在です。夢を持つこと、夢に向かって一歩を踏み出すことは、何よりも大切です。子どもの夢は、大人には途方もないことに思えますが、夢を持つことの大切さを家族が伝えることは、夢の実現に向けた種蒔きだと考えていただければと思います。この夏休み、そんな夢にまつわる体験を味わわせてみるのもよいかもしれません。(本日発行、PTA新聞でも『夢に向かって』と題した文書を掲載させていただきました。)

夏休み…まずは、安全で健康に過ごしてほしい

夏休み、子どもにはどこか気の緩みがあるものです。学校での生活とは違い、規則正しいとはほど遠い生活リズムで過ごす子もいるのではないかと心配しています。

そんな我が子と、守らせるべきこと・守るべきことを確認しておかれることをお奨めします。親として守らせるべきこと、子どもとして守るべきことをはっきりとさせておくことです。安全や健康に関することは、守らせるべきことの第一にあげられます。重大事故の陰には数えきれないくらいのヒヤリ・ハッとしたという出来事がある(ハインリッヒの法則)と言われます。子どもたちが決して事故にあうことがないよう、守るべきことを口が酸っぱくなるくらい注意をしてください。他の家の子どもにも注意をされることをためらわないでください。よろしく願います。

また、子ども自身が立てた夏休みのめあてを見守ることも、きっと子どもには貴重な経験となるはずです。親自らが、子どもに近づいてみる。そんな時間を設けていただければと思います。例えば、親子で読書の時間を設けてみるのもよいかもしれません。親が読んでいる本というのは、子どもにはとても興味がわくものです。いかがですか。